

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION

ゆっくり本を楽しむ

今月のおススメ

「志麻さんの魔法の
ソースレシピ」
志麻 著

「いただきまーす」
accototo 作

11月 図書館カレンダー

2021 年 November

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

残暑も過ぎ、穏やかな小春日和が続く、「食べ物」がおいしくなる季節です。
食欲の秋とは、秋が旬の「食べ物」が多いためといわれてきましたが、現代では、体内の物質が関わっているという説もあり、科学的根拠も示されているようです。
「食べ物」に関する本には、子ども向けの食育の本や絵本、料理のレシピ本などたくさんありますが、今回はその一部を紹介します。

志麻さんの魔法のソースレシピ

メディアから予約の取れない伝説の家政婦として注目されている志麻さんの料理本です。

白ワインのバターソースやきのこソースなどの洋食によく使われるソースを市販の調味料で作る方法を紹介しているため、ソース作りは数居が高いと感じる方におすすめです。他にも肉や魚のシンプルな調理のコツも載せてあり、基本のソースと組み合わせれば、あっという間に目にも鮮やかな料理のレパートリーが一つ増えます。



■休館日：月曜日（祝の場合は翌日）、図書整理日

◎お話し会：11月13日 午前10時半から

図書館ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶

問 図書館 ☎ 029-897-0647

いただきまーす

今日のご飯は、主人公の「おとこのこ」の「おとうさん」がスーパーで買ってきた魚です。

「おとこのこ」が、魚がスーパーに並べられるまでのことを「おとうさん」に教えてもらい、「おとこのこ」は魚が海にいたことを知りました。

それから魚はどのように大きくなっていったかを話していきます。

子どもに食べ物について教育する食育絵本です。



【お知らせ】

◎お話し会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる場合があります。

歴史

にふれる

お城巡りの楽しみ方



▲穴倉城本丸跡

■「お城」とは何か

皆さんは「お城」と聞くと大阪城や姫路城、熊本城のような立派な大天守を思い浮かべませんか？

しかし、お城は天守だけを表す言葉ではありません。むしろ天守があったお城の方が少ないのです。城という字は「土を盛って成る」と書きます。戦の際に立てこもり、攻め入る軍勢を一網打尽に滅ぼすため、障害物として空堀と土塁（土手）を築きました。さらに城内の道を曲げて軍勢を横から攻撃する仕組みを設け、お城にこもって戦をしたのです。

中世のお城は、山や丘陵地などの自然地形を巧みに改変しながら造られたため、一つとして同じものはありません。このようなお城は、市内にも44カ所も造られ、遺跡として登録されています。

■かすみがうら市の穴倉城

代表的なものが、市指定文化財の穴倉城本丸跡です。霞ヶ浦と菱木川の間にある穴倉城は、堀と土塁で防備を固める「掻上げ城」で周辺の低地を掘の補いとして巧みに利用しています。永享（1429～1440年）のころは野田遠江守の所管でしたが、その後、小田氏家臣の菅谷氏や佐竹氏家臣の大山田氏が支配し、慶長7年（1602年）に廃城となりました。各所に空堀や土塁が多く残されており、また本丸跡には城内稲荷神社があります。

■戦をする目線で城を巡る

ここでお城を楽しむためのポイントの一つをご紹介します。まず、見学したいお城の全体の構造が分かる図（多くはインターネットに掲載）を見てみましょう。それをもとに、戦に参加する目線でどこからお城に入り本丸に侵入できるかなど作戦を練ります。そうすることで武将たちが生き残りをかけて必死に工夫した痕跡が分かり、お城がさらに魅力的なものとして見えてくるはずです。

今回ご紹介した穴倉城をはじめ、いくつかのお城の御城印と御城印帳を歴史博物館で販売しています。御城印集めも兼ねて、まずは地元のお城巡りから始めてみてはいかがでしょうか。

問 歴史博物館 ☎ 029-896-0017



あじさい土曜名画座

ライラの冒険 - 黄金の羅針盤 -

【上映時間：112分】

▶日時 11月6日 午後2時／午後1時半受付・開場

▶定員 先着20人

▶場所 あじさい館〔視聴覚室〕

▶料金 100円

問 霞ヶ浦中地区公民館 ☎ 029-897-0564

※鑑賞の注意点／マスクは必ず着用してください。

【出演】ダコタ・ブルー・リチャーズ

【ストーリー】

ライラの周囲で子どもたちの行方不明事件が続く、親友ロジャーまでも姿を消してしまう。ライラは、黄金に輝く“真理計”を手に入れた北の地を目指し危険な旅に出るのだが。

あじさい館

ホール展示

作品紹介

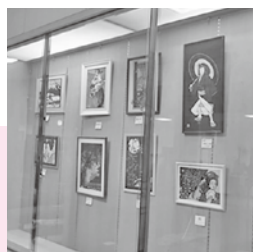
11月 作品展示

◆土釉会

◆押し花コスモスの会

▶期間 10月26日 11月28日

あじさい館では、市内の文化団体などが作成した絵画や写真、陶芸、工芸品の芸術作品などを月替わりで展示しています。ぜひ、ご覧ください。 問 生涯学習課 ☎ 029-897-0564



投稿作品

文芸ひろば

千代田俳句同好会	朝夕に老鶯の声ありがたし	万緑の海のやうなる平野かな	宿り木を覆ひつくせり凌霄花	真夜中の放送響き梅雨出水	土石流に胸を痛めし夏の空	紫陽花俳句会	秋蝶や残れる花に羽根休め	暮れ残る筑波かすめて雁の竿	ひそやかな風が見え来るこぼれ萩	止りても飛びても勇姿鬼やんま	出島短歌会	秋空にボンボンタリヤの色冴えて幾重の花の巧みを想う	ひめゆりの塔に行く人みな無言冬夕焼けの色に染まりて	幼き日遊びし路次の秘密基地高速道路わがもの顔に	過ちて切りし蜥蜴のうごめく尾青く光るを鎌にて埋る	投稿作品	それぞれくびき踏み越え集いしの駆け飛び競う生命かがやく	コロナ禍を不屈の戦い選手等の笑顔と涙オリンピアの火	コロナ禍を一寸先に非凡あり人とコロナの凄みに迫る	秋だなあ空は高くいわし雲ほのかに香る金木犀が	父母の夢路も遠く過ぎ去りてお盆の棚に新たな思い	心臓の鼓動一日十萬回知つてあげよう休まぬ努力	天気見る稲穂がつまりコンバイン	釣人がレン魚釣り上げ上機嫌	サボテンの花咲きしかば月の船	号砲のこだま消へ行く秋の空	月涼し小石の庭で万歩計	関和代	竹村啓子	兼西清治	斉藤勝広	石橋たかの	磯山徳治	石塚清	横井正子	近藤善康	沽野はつ子	中島良平	名倉親子	岡田恭子	仲谷加代子	薬師寺玲子	福田宏通	萩原とし子	田能幸雄	久保庭悦子	中島暉子	桜井筑蛙	桜井愛子	榎原清志	加藤貞江
----------	--------------	---------------	---------------	--------------	--------------	--------	--------------	---------------	-----------------	----------------	-------	---------------------------	---------------------------	-------------------------	--------------------------	------	-----------------------------	---------------------------	--------------------------	------------------------	-------------------------	------------------------	-----------------	---------------	----------------	---------------	-------------	-----	------	------	------	-------	------	-----	------	------	-------	------	------	------	-------	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	------	------

投稿作品（俳句・短歌・川柳）を募集します。11月2日までに秘書広報課（〒315-8512 上土田461）へお願いします。※応募多数の場合は掲載されない場合がありますのでご了承ください。また、音声読み上げに対応するため、漢字にはふりがなの記載をお願いします。（内容を確認する場合がありますので、電話番号もご記載ください。）